

# いいだ 市議会だより

No. **205**  
平成29.7.21

編集/広報広聴委員会 発行/飯田市議会 〒395-8501 長野県飯田市大久保町2534



第2回定例会開催 ②  
ズバリ市政を問う(一般質問) ④⑤

山本小学校での議会出前講座

# 第2 回定例会

## 平成29年度飯田市一般会計補正予算(第1号)案など

### 29議案を可決・同意

#### 定例会のあらまし

第2 回定例会は、6 月1 日から6 月23 日まで23 日間の会期で開催しました。

飯田市税条例の一部を改正する条例の制定について、平成29 年度飯田市一般会計補正予算(第1 号)案など、29 件が上程されました。

うち14 件は市長からの報告案。そのほかの14 件の市長提出議案について人事案件1 件を本会議で同意し、13 件を所管の委員会へ付託しました。また、議員から「長野県議会議員の選挙区及び議員定数に関する決議」が提出され、総務委員会へ付託しました。各委員会で慎重な審査の後、本会議で原案のとおり可決しました。

一般質問では、17 人の議員が市政全般について質問を行いました。これについては、4 ページから紹介します。

#### 議案に対する質疑と審査

報告案件、人事案件以外の提出議案が総務、社会文教、産業建設の各常任委員会に付託され、集中的に審査しました。

質疑等の内容は、6 ページから各常任委員会のページで紹介いたします。

#### 議会議案の概要(議会議案第3号)

県議会議員の選挙区及び議員定数の改正についての議案が議員から提出され、飯田市議会として次のとおり決議しました。

- 一 県議会議員の選挙区及び議員定数の改正については、法及び客観的な尺度を根拠とし、議員1 人当たりの人口が小さい1 人区は是正を排除せず、1 票の格差の是正に取り組まれない。
- 二 改正にあたっては、飯田下伊那地域の地域特性に配慮するとともに、高速交通網時代への対応など、今後の状況変化を見越した対応とされたい。
- 三 県議会議員選挙は、地域振興と住民生活にとって極めて重要であることから、全ての県民に分かりやすい説明が可能な改正内容とされたい。

#### 同意した人事 (敬称略)

##### ○農業委員会の委員

- 本田 武司、野牧 知利、坂井 喜夫
- 針間 道夫、田中 隆男、原 正義

- 宮脇 耕平、高田 清人、今村 勝志
- 中山 與文、原 重一、村澤 好保
- 遠山 幸江、塩澤美紀夫、本庄 良雄
- 岡島ゆみ子、高林 行男、清水 政彦
- 宮崎 光由



第2 回定例会の議場の様子

6月29日、山本小学校で議会出前講座を開催しました。今回は、広報広聴委員の議員6人が出席し、市議会の仕組みや役割を説明しました。班別交流会では、リニアの開業に関連して、「議員さんはどんなふうに考えていますか？」など、子どもたちの目線で様々な質問が出ました。議員も真剣に答えました。



山本小学校で議会出前講座を開催



6月26日、清水勇議長になってから初めての記者会見を開催しました。飯田市議会では、議会改革の一環として平成24年から定例会の閉会后に議長記者会見を実施しています。今回は、定例会の振り返りや議会報告会と議会出前講座の開催予定などについて報告しました。記者からは、議会改革に関しての考え方などの質問が出されました。

新議長による初の記者会見

平成29年度 議会報告会の日程が決まりました

ブロック	地区	開催日	会場
竜 東	下久堅・上久堅・千代・龍江	10月4日(水)	下久堅公民館
北 部	座光寺・上郷	10月5日(木)	座光寺公民館
西 部	三穂・山本・伊賀良	10月6日(金)	伊賀良公民館
遠 山	上村・南信濃	10月10日(火)	上村コミュニティセンター
飯田5地区	橋北・橋南・羽場・丸山・東野	10月11日(水)	飯田市役所
中 部	松尾・竜丘・川路・鼎	10月12日(木)	鼎公民館

議会報告会は、日頃の議会活動について市民の皆さんへ議員が直接説明し、意見や要望をお聴きする場です。

議会報告会を起点に市民の皆さんの声を政策づくりに反映させることを目的としています。今年で10回目を迎える議会報告会。多くの皆さんの参加をお待ちしております。

- 開催時間…午後7時～午後9時（予定）
- 全体会…議長、まちづくり委員会代表 あいさつ
- 分科会…常任委員会の活動報告、テーマに基づく意見交換
- 主催・共催…飯田市議会・各地区まちづくり委員会



昨年度の議会報告会の様子

# 市政を問う!

一般質問とは、市政全般にわたり市長をはじめ執行機関側に、事業の執行状況や将来的な方針などを質し、説明を求めるものです。第2回定例会での一般質問の概要を紹介しましょう。(質問順)

## 公契約条例の制定に向けた今後の取り組みは

福沢 清 議員(会派みらい)

**Q** 市が公契約条例の必要性を認め、条例制定に向けた検討が始まってから3年が経過した。今後、具体的にどう取り組んでいくか。

**A** 公契約条例については、これまで時間をかけて検討してきた。公契約条例を先行して制定している県や自治体の事例などを参考に研究してきた中で、課題もあると認識している。市としては、産業振興の観点も踏まえ、公契約条例の制定も視野におきながら、まずは公契約に対する市としての姿勢を「基本方針」として今年度中に示せるよう進めていきたいと考える。

## 「いいた未来デザイン2028」は

福澤 克憲 議員(市民パワー)

**Q** 総合政策に基づく「飯田市20地区応援隊」は、地域と行政が一体となって仕組みを構築しながら進めていく必要があると感じるが、市長の思いは。

**A** 「いいた未来デザイン2028」における目指すまちの姿に向け、各地区が取り組む「田舎へ還ろう戦略」を進めるには、地区と行政、さらには市民一人ひとりが一体となって取り組むことが重要であると考えている。その取り組みの一つである「飯田市20地区応援隊」は、これから各地区で議論を積み重ねていくものである。人

口ビジョン達成に向けた各地区の取り組みを行政としても全面的にバックアップしていく。

## 行政の備蓄食料の管理方法は

小林 真一 議員(公明党)

**Q** 賞味期限が近づいた備蓄食料を、中小学校の授業等で活用できないか。

**A** 備蓄食料の更新時の処理方法として、賞味期限の迫っているものを防災イベントにおいて参加市民へ配布するほか、自主防災リーダー研修や訓練等での体験実習等として自主防災会へ提供している。調理実習等における活用については、文部科学省の学習指導要領に位置付けられているものではないため、当市で実施している小中学校向けの防災教育カリキュラムの1つのメニューとして実施できるように、今後検討していきたい。

## 「いいた未来デザイン2028」の戦略計画について

木下 徳康 議員(会派のぞみ)

**Q** 公共工事において、地元産資材が使用できるかチェックするシステムを構築できないか。

**A** どの工法でどの資材を採用するかは現場の状況に大きく左右されるため、地元産資材を採用するには、設計段階から取り組む必要がある。施工現場に適合する工

法で地元産資材を使用できる場合は、採用に努める。なお、県では、長野県土木工事共通仕様書の中で「県外産資材使用報告書」の提出を求めている。また、施工計画の段階でもチェックができるようになっていく。

## 公共工事の入札制度に関して、今後の考えは

新井 信一郎 議員(会派のぞみ)

**Q** 最低制限価格に入札が集中し、くじによる落札者の決定が多発している。対策が必要と考えるが今後の方針は。

**A** くじによる落札者の決定は、法令にのっとり公平で客観性のある手法と理解している。しかし、くじ引き案件が増加していることは課題と認識しているため、県や他自治体の取り組みを参考にしながら、くじ引き案件の減少対策を研究している。透明性があり、公明で公正な入札・契約制度の改革改善を通じ、企業の健全で安定した経営環境の向上につながるよう関係者の意見も聞きながら対応策を検討していく。

## 市営住宅・空き家利活用の考えは

湊 猛 議員(会派のぞみ)

**Q** 移住・定住促進のために、住宅特区的な考え方で遠山地域の住宅政策を進めていく必要があると思うが、市営住宅・空き家の利活用をどう考えるか。

**A** 遠山地域の移住・定住対策を進めていくために、住宅政策は重要であると認識しており、これからの議論を深めていきたいと考える。市営住宅の有効活用については、平成29年3月に提出いただいた上村・南信濃、両地域協議会の要望書を尊重し、市営住宅が年齢や単身者といった要件に縛られることなく活用できるように対応し

ていければと思っている。20地区が進める「田舎へ還ろう戦略」の取り組みの必要性の共有化を図り、工夫をこらしながら実践していきたい。

## 市議会議員選挙の開票速報遅延に対する説明は

熊谷 泰人 議員(会派のぞみ)

**Q** 信頼回復のためにも、選挙管理委員会として作業遅延の原因など、市民への説明と謝罪が必要だと考えるがどうか。

**A** 関係する候補者、支持者には、今か、今かと結果を待っていたらと思う。また、速報終盤で、特に当落に関係する候補者や支援者の方の心の中はいかばかりであったかと思う。開票が遅れたこと、開票速報の出し方に課題があったことについて、選挙管理委員会委員長として、改めてこの場をお借りしてお詫言申し上げる。県下各市の開票方法やチェック体制も参考に再発防止に努めていく。

## リニア長野県駅周辺における用地取得のスケジュールは

岡田 倫英 議員(会派のぞみ)

**Q** 移転者の不安軽減のために、先々の手順を早めに分かりやすく示す必要があると考えるが、市の考えは。

**A** 現在、用地説明会や個別相談会において、事業の流れや、おおよそのスケジュールを示して説明しているところである。移転対象者となった方々は、それぞれ個別に事情も異なり、個別相談においても様々な悩みや不安の相談をいただいている。今後も個々の事情を伺い、関係者の皆さんへの説明は、内容を正しく理解いただけるよう、できる限り親切、丁寧な説明をしていく。

## 人形とけい塔「ハミングバル」の改修について

岡田 倫英 議員(会派のぞみ)

人形とけい塔「ハミングバル」の改修について

IID Aブランド推進の目的は

湯澤 啓次 議員（会派のぞみ）

Q IID Aブランドとは何か、IID Aブランドを推進する目的は。

A リニアがもたらす大交流時代を見据え、国内外から多くの人を惹きつける魅力づくりを進める。取組のターゲットを世界とし、あえてローマ字の「IID A」を使用した。IID Aブランド推進の目的は、「リニアが走るまち」という優位性を生かした地域資源の活用や魅力発信などにより、総合的に飯田の知名度を高め、国内外の多くの方に飯田を訪問先、定住先として選んでいただけるようにすることである。

中小学校のトイレ洋式化に対する市の考えは

村松 まり子 議員（公明党）

Q 市長は子育て・教育を最重要課題としていますが、中小学校のトイレ洋式化に対し、子育て・教育の観点から、予算化して取り組んでいく考えはあるか。

A トイレの洋式化は重要な課題だと認識している。市では、学校施設の耐震整備を優先的に実施してきたが、平成24年度からは、トイレ改修も含む、給排水施設の改修工事に取り組んでいる。各学校から施設改修の要望は寄せられているが、緊急度や優先度を勘案しながら、引き続き計画的な予算化に努め、実施していく。

■命を守る自殺予防への取り組みについて

■道路・橋梁の長寿命化について

Q 不妊治療に対して積極的に取り組んでほしいと思うが、市の今後の方針は。

A 不妊や不育に対しては、市としてもできる限りのことをしたいと考えている。子どもを望む夫婦が、できるだけ早く希望を叶えられることを願い、現在、相談日の開設と治療費用の助成を行っている。特定不妊治療を実施する医療機関と医師の確保については、市単独では対応が困難な課題であり、医師会、包括医療協議会、広域連合など、地域の関係機関と緊密に連携しながら取り組んでいく。

■市議会議員選挙の投票率にみる市政関心度について

Q 松本市で実施している30・10（さんまるいちまる）運動などを参考に、飯田市で食品ロス削減のための取り組みを行う考えは。

A 飯田市では第1次食育推進計画から、「食」を健康・農業・教育の3つの視点で捉え、望ましい食生活の実践に取り組んできた。この3つの視点は、食品ロスなど環境問題への取り組みと深い関連がある。市民一人ひとりが「食」について意識を高め、また、地域の様々な立場の関係者が連携して取り組むことが重要と認識している。取り組みのキャッチフレーズは議会も一緒になって考えていただきたい。

食品ロス削減のための取り組みは

木下 容子 議員（市民パワー）

Q 飯田市では第1次食育推進計画から、「食」を健康・農業・教育の3つの視点で捉え、望ましい食生活の実践に取り組んできた。この3つの視点は、食品ロスなど環境問題への取り組みと深い関連がある。市民一人ひとりが「食」について意識を高め、また、地域の様々な立場の関係者が連携して取り組むことが重要と認識している。取り組みのキャッチフレーズは議会も一緒になって考えていただきたい。

■次期学習指導要領の移行措置について

■魅力発信及び都市間交流の推進は

■塚平 一成 議員（会派のぞみ）

Q 飯田市や20地区の認知度向上に寄与する市内外の協力者を「市民交流大使（仮称）」に任命する制度を提案したいがどうか。

A 飯田市では「信州飯田ふるさと大使」や「産業親善大使」などに、市の魅力PRをお願いしてきた。新たな交流に繋が

るような取り組みをしていくためには、様々な人脈を生かした繋がりをつくること

が大切である。「飯田ファン」を増やし、そ

の方々「飯田のスポーツスマン」として活躍することは、当地域において重要だと認識している。提案は新たな提案として受け止め、市民交流の活発な試みを仕掛けていければと考える。

地域福祉計画について

後藤 莊一 議員（日本共産党）

Q レッドゾーンに住居する方が、指定を解除して安全に住み続けられるよう、擁壁等の対策を講じた場合に援助はあるか。

A 今年度から新たに、現在レッドゾーンに住んでいる方が、擁壁等の補強工事を行った場合の支援について、県から制度拡充の内容が示されてきた。現段階での県の資料では、土石流や地滑り等に耐えうる構造である施設など、一定の仕様を満たす施設を造る場合に、工事費の2分の1を補助する（上限100万円）とある。制度の具体的な内容との対応はこれから決定される。

新しいごみ袋への切り替えにおける対応は

古川 仁 議員（日本共産党）

Q 新しいもやすごみ袋は8月1日から販売開始となるが、9月の焼却場切り替え前に新しいごみ袋で出された場合の対応は。

A ポリエチレン製の新しいごみ袋をはじめ、プラスチック製品のごみ袋は、桐林クリーンセンターへ持ち込まず、ストックしておく場所もないため、8月中旬に新しいごみ袋でごみ集積所へ排出されたものは、基本的には回収しない。誤って新しい袋で排出された場合は、現行の紙袋へ詰め替えてもらうことが基本となる。過渡期である

ので、最大限の周知に努めていく。ただし、不測の事態はあり得るので、まちづくり委員会の皆様と行政とで話し合い、処理方法について考えていきたい。

「地区指定のふるさと納税制度」の課題は何か

山崎 昌伸 議員（会派のぞみ）

Q 年によるバラツキがあり、収入ゼロの可能性もある不安定な財源で、どのように「田舎へ還ろう戦略」を実効性のあるものにするか。

A 市としても「地区指定ふるさと納税制度」について、ホームページなどを通じて情報発信をしているが、是非、各地区においても寄附金の増額に向けて一緒に汗をかいていただくことをお願いしたい。そのことが結果として財源確保につながり、さらには継続してその地域のファンになっていただくことにもなり、そうならば寄附も安定的なものになっていくと思う。

■地域で歌い継がれる愛唱歌について

■道路整備における都市計画との整合性は

都市計画における半世紀以上前に計画されたものが多くある。地域が大きく変貌する中、実情にそぐわない部分が散見しているが、この現状にどう対応していくか。

吉川 秋利 議員（会派のぞみ）

Q 都市計画には、半世紀以上前に計画されたものが多くある。地域が大きく変貌する中、実情にそぐわない部分が散見しているが、この現状にどう対応していくか。

A 計画が制定されてから長期間が経過更されていないことについては問題意識をもっており、国や県に対してもその考えを伝えていく。県の道路整備については、県と当該地区とで話し合いながら進めていくことが重要と認識している。市は地区と県を結びつけ、継続的な要望活動に力を入れていくことが大切であると考える。

■産業振興と人材育成の拠点整備について

# 総務委員会

5月15日に管内視察、6月15日・23日に委員会を開催しました。委員会での質疑及び管内視察の様子を紹介します。

## 議案第55号

飯田市特別職の旅費に関する条例及び飯田市特別職の職員で非常勤の者の報酬に関する条例の一部を改正する条例の制定について

### 案件の概要

農業委員会等に関する法律等の改正により農業委員の報酬額の改正及び農地利用最適化推進委員の報酬額を規定するもの

### 農地利用最適化推進委員は特別職となるか

Q 農地利用最適化推進委員は特別職となるのか、他の市町村も同様か。

A 他の市町村も同様であり、特別職となる。

## 議案第56号

飯田市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について

### 案件の概要

雇用保険法等の改正によるもの

### 特定退職者とは

Q 特定退職者とはどのような退職者か。

A 事業主の事業の倒産、縮小、廃止等によって退職した者である。



上久堅風張集落センター(集会施設整備事業)

実施日：平成29年5月15日

調査項目、視察先等

- ①上村小水力発電
- ②上村自治振興センター整備
- ③上村エリアのいいだFM受信状況確認
- ④千代よこね田んぼビューポイント整備事業
- ⑤南信州広域連合 稲葉クリーンセンター
- ⑥上久堅風張集落センター(集会施設整備事業)
- ⑦下虎岩憩いの家(集会施設整備事業)
- ⑧空き家対策(鼎上山)

管内視察を実施しました



上村小水力発電



千代よこね田んぼ ビューポイント整備事業

## 常任委員会の活動

地方自治法の規定により、常任委員会は、会期中のみ委員会活動を行います。市議会では定例会が終了しても閉会中の所管事務調査として常任委員会が調査活動を実施しています。6月24日から第5次基本構想基本計画の平成28年度実績評価(行政評価)を行い、「いいだ未来デザイン2028」の取り組みへ反映させていただきます。

### 議会が行う行政評価

【ステップ1】市側の成果説明  
市側から施策の成果説明

【ステップ2】議員による評価  
各議員が評価し課題を抽出

【ステップ3】意見集約  
各委員会として意見を集約

【ステップ4】全員協議会で確認  
各委員会の検討内容を全員で協議

【ステップ5】各委員会で再検討  
今までの意見を踏まえて再検討

【ステップ6】市長へ提言  
9月定例会後に市長へ提言

9月

8月

7月

# 社会文教委員会

5月16日に管内視察、6月16日に委員会を開催しました。  
委員会での質疑及び管内視察の様子を紹介します。

## 議案第60号

飯田市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

### 案件の概要

地方税法施行令の一部改正により、低所得者に係る軽減判定所得を見直すもの

## 軽減対象となる人数は

Q 今回の所得基準額の引き上げにより、どの位の人が軽減対象になるか。

A 区分は、医療一般分、支援金一般分、介護世帯分があり、医療一般分、支援金一般分の区分では、5割軽減が64人、2割軽減が73人対象となる見込みで、介護世帯分の区分では、5割軽減が17人、2割軽減が25人対象となる見込みである。

## 議案第61号

飯田市歴史研究所条例の一部を改正する条例の制定について

### 案件の概要

上郷自治振興センター新築工事に伴い、設置場所を変更するもの

## 鼎東保育園跡地の使用期間は

Q 鼎東保育園跡地をいつまで使用する予定か。将来的な展望としてはどのようなか。

A 今回の移転は、暫定的な移転である。今年度、地域振興の知の拠点に関する



構想を定めていく予定であり、その中で考えていく。使用期間は、現時点では決まっていない。

## 議案第63号

公の施設の指定管理者の指定について（飯田市特別養護老人ホーム）

### 案件の概要

飯田荘、第二飯田荘の指定管理者を平成30年度から10年間、飯田市社会福祉協議会とするもの

## 指定管理期間の根拠は

Q 指定管理期間が10年間の根拠は。

A 特別養護老人ホームという施設の性質上、長期間にわたる指定管理期間の設定が適当と考える。また、指定管理者となる法人も、職員を雇用する必要があり、ある程度長期間の受託期間がないと安定した運営ができないと考えることから、10年間の指定管理期間を設定したい。

## 議案第66号

平成29年度飯田市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）案

## 基金として必要な金額は

Q 基金について、国の基準でなく飯田市としてどのくらいが妥当と考えるのか。

A 市でも、ガイドラインと基金条例で定めており、ガイドラインでは10億円位との見込みを持っている。基金条例では19億円とあるが、同じ規模の自治体を見る中では、10億円前後で安定運営できると考えている。

## Q 国保を維持するための取り組みは。

A 国保被保険者に限らず、市民が健康でいられるために、地域健康ケア計画に取り組んでいる。長期的な目で見て、保健師を中心とした保健事業、特定健診の受診率の向上、保健指導、がん検診の受診率向上による早期発見早期治療を地道に継続していく。

## 管内視察を実施しました

実施日：平成29年5月16日  
調査項目、視察先等

- ① 飯田市庁舎整備事業（飯田市保健センター）
- ② 飯田荘施設整備事業
- ③ 地域密着型小規模特養たまゆら
- ④ 飯田市のICT教育（旭ヶ丘中学校）
- ⑤ 矢高共同調理場
- ⑥ 飯田古墳群保存活用事業（竜丘・塚原古墳群）
- ⑦ 認知症グループホームあやめ
- ⑧ 市立病院介護老人保健施設運営事業
- ⑨ 民間保育所施設整備事業（上郷）
- ⑩ 恒川遺跡群保存活用事業（座光寺）
- ⑪ 飯田市美術博物館管理事業



飯田市のICT教育（旭ヶ丘中学校）



グループホームあやめ



恒川官衙遺跡

# 産業建設委員会

5月17日に管内視察、6月19日に委員会を開催しました。委員会及び管内視察の様子を紹介します。

議案第64号「市道路線の変更について」と議案第65号「平成29年度飯田市一般会計補正予算（第1号）案」のうち当委員会付託分について審査し、原案のとおり可決しました。

## 管内視察を実施しました

天龍峡大橋（仮称）が着実に前進

実施日：平成29年5月17日  
調査項目、視察先等

- ①りんご並木
- ②市道飯田99号線（二本松）
- ③妙琴浄水場更新整備事業
- ④松尾浄化管理センター消化ガス発電設備設置工事
- ⑤下水道長寿命化管更生工法
- ⑥天龍峡温泉交流館「ご湯っくり」
- ⑦三遠南信自動車道天龍峡大橋（仮称）添架歩廊工
- ⑧産業用地整備事業（龍江）
- ⑨社会基本整備総合交付金事業（道路整備 下久堅）
- ⑩三遠南信自動車道整備事業関連：飯田東IC（上久堅）
- ⑪産業振興と人材育成の拠点整備事業（座光寺）
- ⑫社会基本整備総合交付金事業 [座光寺 S I C 関連]
- ⑬座光寺上郷道路概要



工事が進む天龍峡大橋（仮称） [写真提供 飯田国道事務所]



妙琴浄水場更新整備事業



りんご並木



産業振興と人材育成の拠点整備事業（旧飯田工業高校）



天龍峡温泉交流館「ご湯っくり」

# リニア推進特別委員会

5月18日、6月21日に委員会を開催しました。委員会の質疑等の様子を紹介します。



5月18日の委員会では、「代替地の状況について」と「個別相談会及びリニア関連事業説明会について」の報告を受けました。また、いずれの委員会においても、リニア駅周辺整備基本計画(案)の説明を受け、質疑等を行いました。

### ◆「代替地の状況について」

**Q** 移転を余儀なくされる方の関心は、いつ代替地を公開してくれるかという点であるが、その時期は。

**A** 事業ごとに不公平が生じないように適切な時期に公開したいが、1年内の公開は難しいと考える。

**Q** 代替地の新規造成・確保による幹線に關してのスケジュールや市の関与は。

**A** 5つ提示した地域の内、2つの地域は農振農用地を想定しており、農振農用地の除外の手続きからも市が主体となる必要がある。残りの3地域は、用途地域になっている又は白地の農地となっており、土地利用上の規制はないので、民間業者も対応が可能と考えている。これからヒアリングや用地交渉に入っていくための相談を始めている状況である。できるだけ早い時期に開発エリアを確定したいと考えており、今年度中を指しているが地権者のご意向もあるので少し時間をいただきたい。

**Q** 白地の中のゾーニングしたエリアに関して、宅建業者との連携はあるのか。  
**A** 白地地域の宅地化は不動産業者や建設業者の関与が可能であり、民間事業者の開発等も有効と考えている。

### ◆「北条地区移転対象者個別相談会及びリニア関連事業説明会について」

**Q** 不安を解消するために具体的なスケジュールを示して欲しいという要望が多いとの説明に対し、「一番の不安は『私たちはこれからどうなるのか』ということであり、現時点で市がそれに応えていないのではないのか。」

**A** リニア関連事業の進捗には事業毎の時間差があり、はっきりとしたスケジュールをお示しできない。早期の補償額算定の取り組みや、不公平の生じない対応を検討しつつ、今後も個別相談会を定期的に開催していく必要があると考えている。

**Q** 今回の説明会は、非常に前向きな市民の姿勢と感ずるし、これからも、住民に寄り添った運営の仕方に期待している。できるだけ、明確な期限を示す方が良いと思うが、いかがか。

**A** 今後、用地の取得のために、用地関係者組合を作っていたら必要がある。市の予定では、今年度の夏以降に準備会を立ち上げていただき、その後、今年度末か来年度にかけて用地関係者組合をお作りいただく。その中の協議を経て各土地の評価が決定され、建物の補償額が算定されるのはその後と考えられる。用地交渉はどんなに早くても30年度後半から31年度になる見込みである。



### ◆「リニア駅周辺整備基本計画(案)について」

**Q** 市の用地取得に伴う固定資産税の減収や用地買収の費用など将来的な財政負担が心配であり、費用的な見積りは基本設計の段階で出てくるのか。

**A** 基本設計の段階で官民連携といった運営の形態や建設に關しての具体的な費用も検討して進める。

**Q** リニア駅周辺整備を検討する区域として約6.5haの整備区域が示されており、検討会議では、「その区域を超えたまちづくりを」との声もあつたとの報告を受けた。土地利用における重点協議区域である隣接する約1.3haを拡大する考えが市としてあるのか。

**A** 今回の重点協議区域とするエリアを拡大する考えはないが、この区域や隣接する区域の権利者や地権者、事業者の皆さんの考えをお聴きし、1.3ha更に周辺のあり方をまとめていきたい。

**Q** 重点協議区域の地元との協議はいつ頃になるのか。  
**A** 市の考えを整理した上で早期に相談をしていきたいと考えている。

**Q** 6.5haの区域を含めて天竜川に繋がる河川などの排水計画や農業用水はどうなっていくのか。  
**A** 基本的に、駅周辺整備の基本設計の段階において影響する排水計画をまとめていくが、地域の皆さんと協議をしながら、必要な法令や基準に沿って検討していく。

**Q** (仮称)リニア駅周辺整備デザイン検討会議の詳細は。  
**A** 基本計画に關わっていただいた有識者の方に引き続きお願いしながらも、建築デザイン的な知識のある有識者の方にも加わっていただき組織したい。また、7月中旬に1回目の会議開催を目指して調整している。

**Q** 基本設計と(仮称)リニア駅周辺整備デザイン検討会議の關係は。  
**A** 検討会議は、設計業務の方向性を審査し、内容を検討するが、基本設計の業務発注は、プロポーザル等を含めた検討が必要であり、受注業者が決定するのは秋口になると考えている。新たな検討組織においても、基本設計の発注に向けた準備についても検討をお願いしたいと考えている。業務が発注されるよりも前の早い段階で組織して進めていきたい。

**Q** 市が今後まとめていく立地適正化計画の中に代替地エリアが入ってくるのか。  
**A** 立地適正化計画は都市計画の一つの手法であり、今までの「規制」という概念のものに「誘導」という概念を取り入れるものである。6.5haの区域やその周辺の皆さんと土地利用を協議する中で、「居住誘導区域」なども定めていく。代替地も含めて検討していきたい。

# 議員紹介

議員の人となりなどを議員自らが紹介します。(議席順に掲載)



～議員活動以外の私の仕事を紹介します～

清水 優一郎

私は、農作業を請け負う“農援隊”を6年前に立ち上げ、夫婦で運営してきました。現在、“農援隊”の隊員は10名で、市内各地の水田作業（耕起、代かき、田植え、稲刈り、乾燥調整、籾摺り等）や、一般農作業（畑や土手の草刈り、庭木の伐採等）を請け負っています。また、担い手のいない果樹園を引き受け、梨（幸水、豊水、南水）、竜峡小梅、シャインマスカットを栽培しています。美しい農村風景を次世代に繋げるため、これからも議員活動と共にごんばります！



～次の時代へ“つながってく”～

岡田 倫英

いいだ人形劇フェスタの開催がことしも間近に迫って参りました。国内最大規模の“人形劇の祭典”として知られ、飯田市を代表するブランドの一つになっている人形劇フェスタ。前身の人形劇カーニバルも合わせ、1年後の平成30年には40周年の節目を迎えます。

9年前の30周年では、私も記念式典スタッフの一員として関わらせて頂きました。人形劇を通じて子どもと大人、過去と未来、地域と海外が“つながってく”可能性に思いを馳せる、素晴らしい式典だったことを思い出します。

時代とともに取り巻く環境が変わり、スタッフの確保など新しい課題も浮かび上がっています。歴史を継承しつつ、次の時代へ向かう展望も見いだせる今年、来年の人形劇フェスタになればと思います。いろいろな人たちがそれぞれの立場で関わり合う「みる、演じる、ささえる」の基本精神とともに。

本会議、委員会とも個人、団体で自由に傍聴いただけます。事前予約は要りませんが、団体等大勢での傍聴の際は事前に議会事務局に連絡をお願いします。ぜひ傍聴にお越しくください。



平成29年第2回定例会は、多くの方が傍聴に来てくれました。アンケートのご意見を紹介します。答弁側のマイクの声が聞きにくい場面があった。どうしたら市民が議会見学に来るか大いに工夫したい。

## 市議会ウォッチング



### 議会中継をしています

本会議の様子は飯田ケーブルテレビデジタル714chで中継しているほか、一般質問の様子はインターネットによるオンライン動画配信サービスで中継しています。ぜひご覧ください。<http://www.city.iida.lg.jp/>

### 編集後記

飯田市は、本年度から12年間の計画期間とする総合計画『いいだ未来デザイン2028』を推進しています。一方で市議会は、この7月から第5次基本構想の平成28年度分について行政評価を行っています。同基本構想と新しい総合計画は基本的な体系が異なるため直接比較することが難しいのですが、議会の本分であるチェック機能を発揮し、政策提言につなげていく重要な評価作業になります。熱い思いとクールな判断で、夏の盛りの議会活動に励みます。

### 議会の動き(予定)

- 議会による行政評価(7月～9月)
- 第3回(9月)定例会は9月5日(火)から始まります。
- 議会への請願・陳情の締め切りは8月30日(水)午後5時です。議会事務局へご提出ください。

### 広報広聴委員会

委員長	新井 信一郎	副委員長	古川 仁
委員	岡田 倫英	塚平 一成	小林 真一
	熊谷 泰人	木下 容子	原 和世